



恋飛脚大和往來 封印切の場
豊橋素人歌舞伎保存会(愛知県豊橋市)

豊橋大会

三入吉三巴白波 大山端庚申塚の場
湖西歌舞伎保存会(静岡県湖西市)

奥州安達ヶ原 袖萩祭文
浦川歌舞伎保存会(静岡県浜松市)

第23回

菅原伝授手習鑑 寺子屋の段
下條歌舞伎保存会(長野県下條村)

一谷嫩軍記 須磨浦の段
大鹿歌舞伎保存会(長野県大鹿村)

身替座禪
田崎親世音楽納歌舞伎台高座(愛知県設楽町)

第31回国民文化祭・あいち2016

三遠南信 ふるさと歌舞伎交流

平成28年

11月27日(日)

開場 ● 9:30
開演 ● 10:00

入場
無料

穂の国とよはし芸術劇場 主ホール

愛知県豊橋市西小田原町123番地

主催 ● 文化庁、愛知県、第31回国民文化祭愛知県実行委員会、三遠南信ふるさと歌舞伎交流実行委員会
共催 ● 豊橋市、湖西市、湖西市教育委員会、浜松市、大鹿村、大鹿村教育委員会、下條村、下條村教育委員会、設楽町、設楽町教育委員会
後援 ● 愛知県教育委員会、公益財団法人豊橋文化振興財団
助成 ● 独立行政法人日本芸術文化振興会、一般財団法人地域創造



お問合せ先 ● 三遠南信ふるさと歌舞伎交流実行委員会事務局(豊橋市文化課内) ☎(0532)51-2875 〒440-8501 豊橋市今橋町1

第23回 三遠南信 ぶるぎと歌舞伎交流

豊橋大会

あらまじ

身替座禅

田峰親直音楽納歌舞伎高座(愛知県豊橋市)

京の近郊に住む人名の山蔭(石京)は、美濃への旅の際、野上の宿で花子という女性と契りを交わしました。その花子が北白河から石京に「逢いたい」と手紙を送ってきます。石京は「世の安寧を祈願するため座禅をする」と言って、家来の太郎冠者を身替わりに花子に会いに行ってしまう。

しかし、その作戦は奥方「玉の井」に見破られ、石京が満腹で帰宅したときには、玉の井が太郎冠者の替わりに座禅を組んでいました。

そうとは知らない石京は、座禅を組んでいる玉の井に、花子との逢瀬をうれしそに全部しゃべってしまいます。

激怒した玉の井は、手を合わせて謝りながら逃げる石京に掴みかかり、追い回し、幕切れとなります。

一谷嫩軍記 須磨浦の段

大鹿歌舞伎保存会(長野県大鹿村)

舞台は須磨の浜辺。こゝへ敦盛を探して許婚の玉織姫がやってきました。

しかし、敦盛から逃れた平山に出会い、玉織姫は平山の横恋慕から斬られてしまいます。

源氏に攻められ海へ逃れた平家を追って敦盛が海へ入ると、熊谷直実がこれを追ってやってきました。二人は海上で組打となりますが、敦盛は熊谷に組み伏せられて

しまうのです。

もはやこれまでと、敦盛は熊谷に首を討つよう言いますが、熊谷は我が子小次郎と同年の敦盛を討つ事ができません。

しかし、こゝへ現れた平山に「一心あり」と言われ熊谷は敦盛の首を討つのでした。

そして、敦盛を討つたのかちの声を聞いて、瀕死の玉織姫が現れます。

もはや目の見えなくなっている玉織姫でしたが、敦盛と対面したいと願うので、熊谷は討ち取った敦盛の首と対面させます。

熊谷は、息絶えた玉織姫と敦盛をねんごろに抱いて陣屋へ立ち帰るのでした。

菅原伝授手習鑑 寺子屋の段

下條歌舞伎保存会(長野県下條村)

菅承相の一族詮議厳しく、京の郊外芹生の里に寺子屋を開く武部源蔵にかくまわれている承相の子菅秀才の首を打つて出すように厳命が下った。もはや逃れるすべはない。

源蔵は「万策つきて、今日寺入り(入学)した小太郎といつ子を殺し、首実検に來た松王丸と春藤玄蕃の前に差し出す。

菅秀才の顔を知っているはずの松王が、意外にも菅秀才の顔に違いないというので、玄蕃は首を持って帰った。小太郎こそ松王夫妻の子で、源蔵夫婦菅秀才の危機を知った父子が先に回って身代わりになったのである。

事情を知った源蔵夫婦は、松王夫婦と涙にくれながら小太郎の葬送を行なう。

今回の上演は、首実検の場面からの上演となります。

奥州安達ヶ原 袖萩祭文

浦川歌舞伎保存会(静岡県浜松市)

皇子環宮の養育掛平謙杖直方は妻浜夕との間に二人の娘袖萩と敷妙をもつていた。一年前袖萩十六歳のとき黒沢左仲という浪人と袖萩が密通妊娠して墮落した。その後敷妙は八幡太郎義家の妻となる。平家の娘が源氏の大將の妻になったのである。

そして十年。こゝは雪の降る環宮の御殿である。幼少の主人環宮は何者かに誘拐され留守を守る謙杖と浜夕。しかし今日は環宮行方不明の責任をとって謙杖が切腹しなければならぬその当日。すでに義家夫婦も奥に來ているし、勅使として桂中納言教氏が暗に切腹をすすめる使者として御殿へ來た。

そして父の大變をきいて袖萩が十年ぶりであらわれる。変わり果てた袖萩は、二味線をかかえ人娘で十になるお君に手をひかれた盲目の乞食女。呆然たる謙杖夫婦、袖萩は庭の木戸の外で父と母に不孝を詫言る祭文を語る。謙杖夫婦が主たあと鶴殺しの宗任が来て、袖萩に安倍族の敵謙杖を殺すように進める。黒沢左仲こそ安倍貞任であり、桂中納言に化けているのであった。思いあまた袖萩は自害、謙杖は切腹。謙杖の切腹をみてあらわれた桂中納言を八幡太郎義家が安倍貞任と見あわわし、戦場での再会を約束して別れるのであった。

三人きり三巴自破 大山端庚申塚の場

湖西歌舞伎保存会(静岡県湖西市)

お客が落としていった百両を届けようと大川端を歩いていたおとせは、瘡(しやく)胸の痛み(に)苦しんでいるところを通りすがりの七三郎に助けられます。

七三郎は、大金を持って歩くのは危ないので今日は帰るよういにと別れますが、その親切に従っておとせが帰ろうとすると、振袖姿の娘に声をかけられます。この娘は実は女装して悪事をはたらくお嬢三三でした。お嬢はうそを言て百両を奪うと、おとせを大川へ墮落とします。

この様子をうかがっていたお坊主三三は、お嬢と百両をめくって斬り合いを始めますが、和尚三三が割つて入り、二人の争いをおさめます。感謝したお坊主とお嬢は三人で兄弟分になりたいと申し出るのです。

恋飛脚大和住糸 封印切の場

豊橋素人歌舞伎保存会(愛知県豊橋市)

飛脚屋、亀屋の養子忠兵衛は、遊女梅川と馴染みになっています。忠兵衛は、梅川を身請けにするため手付けの金は支払ってあるのですが、後金の上面がどうしてできません。

今日は、お屋敷の為替の金三百両を届けようと懐中して家を出ますが、足は知らず知らずのうちに、新町井筒屋の方に向いてしまっています。井筒屋では、なかなか後金の上面ができない忠兵衛のため、金の上面がつくまで待つてくれるという話がいつたところで、悪敵の丹波屋八右衛門が礼儀をわきまえない態度でやってきました。八右衛門の忠兵衛に対する悪口雑言や大和の実父への悪口に我慢できずに忠兵衛は店の中に駆け込み、とうとう懐中の三百両の封印を切ってしまう。その金を身請けの後金だといって治右衛門に渡し、梅川を身請けします。

しかし、皆が出て行き梅川と二人きりになった忠兵衛は今切ったあの金はお屋敷の為替の金であることを梅川に語ります。公金の封印を切ったからには忠兵衛には獄門への道しか残されていません。梅川は、悲しい男のため、こゝまでも付いていく覚悟を決め二人して心中への道を落ちていきます。

アクセス



豊橋駅(JR東海道新幹線、東海道本線、名古屋鉄道)、新豊橋駅(豊橋鉄道渥美線)直結。豊橋駅南口から徒歩3分。
※駐車場はございません。公共交通機関やお近くの公共駐車場等をご利用ください。豊橋駅前大通公共駐車場(第1・第2)パーキング500をご利用の場合、駐車料金が30分150円から30分100円に割引(上限4時間)になります。